

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### 腹腔鏡下膵体尾部切除術における膵離断法の検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2008年2月1日から2019年7月31日までに腹腔鏡下膵体尾部切除術が施行された方

#### 2. 研究目的・方法

目的および方法：腹腔鏡下膵体尾部切除術は、保険収載とともに施行施設・施行症例数の増加を認めております。膵体尾部切除術における従来から解決すべき合併症の一つに術後膵液瘻の発生が挙げられ、その頻度は経過観察可能な症例を含めると20-30%程度と報告されています。術後膵液瘻は、胃排出遅延や腹腔内膿瘍の形成の原因となり、特に術後膵液瘻による仮性動脈瘤の形成は重篤な転帰につながる危険性を有します。術後膵液瘻発症の原因は、膵離断面における主膵管・分岐膵管断端からの膵液露出や膵被膜の損傷が考えられ、また膵組織の硬度の関与が報告されてきました。これまで術後膵液瘻の発生を予防するため、膵離断法において自動縫合器による膵離断・膵離断面への連続縫合の追加・吸収性組織補強材の併用などの様々な工夫がなされてきました。

本研究は、各膵離断法と術後膵液瘻の発症との関係を検討することを目的に立案されました。本研究では、腹腔鏡下膵切除術施行症例において、短期成績を診療録より後方視的に検討し評価することを目的とします。

#### 研究期間

医学研究科 人を対象にする研究などに関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2020年3月31日まで

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

##### 術前因子

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 合併膵疾患
- ・ 観察開始日（前医を含む）

- ・術前診断
- ・主占拠部位
- ・実施画像検査（（コンピューター断層撮影法（CT）、磁気共鳴断層撮影法（MRI）、超音波内視鏡検査（EUS））

#### **術中因子**

- ・手術日
- ・施行術式（臍離断法・開腹手術への移行の有無）

#### **病理組織診断**

- ・診断名
- ・TNM分類
- ・リンパ節転移
- ・根治性（腫瘍遺残の有無）

#### **術後**

- ・術後合併症の有無
- ・術後入院期間
- ・再発の有無
- ・再発確認日

#### **4. お問い合わせ先**

本臨床研究への参加・研究のために自分の情報が利用されることを望まれない場合はデータを使用することはありませんので、いつでも下記の連絡先に本研究へのデータ使用は希望しない旨の意思表示をご連絡頂きますよう、お願いいたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学 消化器一般外科 氏名： 青木武士  
住所：東京都品川区旗の台1-5-8

研究責任者：

所属	職名	氏名
昭和大学 消化器一般外科	准教授	青木武士
電話番号 03-3784-8541		
E-mail: takejp@med.showa-u.ac.jp		